

21・老福連 第18回

職員研究 交流集会

in熊本

2018年

11/24(土) 25(日) 26(月)

会場

全体会・くまもと森都心プラザホール
(熊本市西区春日1丁目14-1)

分科会・大原学園(熊本市西区春日2丁目2-35)

参加費

3日間10,000円 2日間9,000円 1日間7,000円
一般市民の方は記念講演のみ無料

主催/21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

〒565-0824 大阪府吹田市山田西1-32-12-207

TEL:06-6170-1325 FAX:06-6170-1355

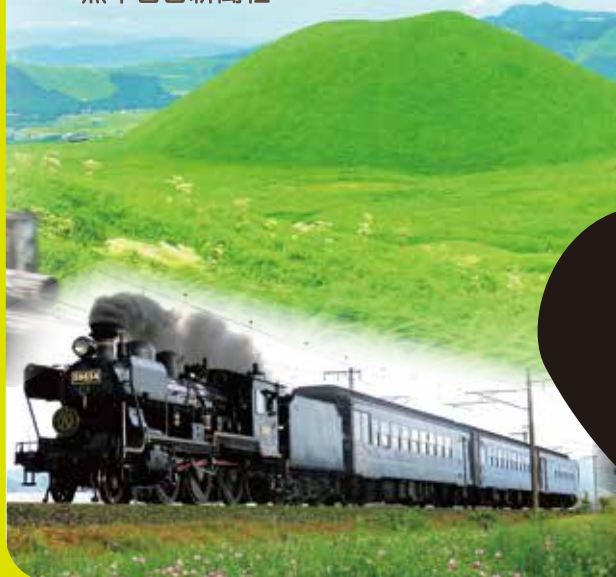
E-MAIL:roufuku@siren.ocn.ne.jp

後援/熊本県、熊本市、熊本県介護福祉士会、
熊本県社会福祉協議会、熊本県老人福祉施設協議会、
熊本市社会福祉協議会、熊本市老人福祉施設協議会、
KKTくまもと県民テレビ、KAB熊本朝日放送、
熊本日日新聞社

くまもとに
きてほしい
モン

ひきだそう内に秘めた情熱を

ほんなごっ好きバイ!



お問い合わせ

社会福祉法人くまもと福祉会

特別養護老人ホームたくまの里

〒861-8035 熊本市東区御領1丁目13-26

TEL:096-382-3222 FAX:096-382-3173

©2010 熊本県くまモン#K29418

参加呼びかけ

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」（略称：21・老福連）は実践交流と連携をめざした老人福祉の連絡組織として、2001年に発足いたしました。発足にあたって①介護保険導入の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立を目指すとともに、真の高齢者福祉、介護保険の在り方について実践を含めた意見交換を活発に行う。②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する。③老人福祉の向上をめざす活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し積極的に進める。これらを目標に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この集会は上記の目的に沿った3日間で構成されています。その中でも分科会は、参加者が仕事への誇りを持ち、勇気と元気を得ることを目的にしています。単なる事例発表ではなく、一日をかけて参加者全員がテーマに沿って本音で語り合い、今後の豊かな援助実践につなげる内容となっています。

高齢者福祉に携わる全国の仲間と一緒に学びを深めて、希望と元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう、多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

日程

2018年11月24日（土）25日（日）26日（月）

会場

全体会 くまもと森都心プラザホール

熊本市西区春日1丁目14-1

分科会 大原学園

熊本市西区春日2丁目2-35

参加費

3日間 10,000 円 2日間 9,000 円 1日間 7,000 円

一般市民の方は記念講演のみ無料

〔1日目夜 交流会 9,000 円〕

主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

〒565-0824 大阪府吹田市山田西1-32-12-207

TEL：06-6170-1325 FAX：06-6170-1355

E-MAIL：roufuku@siren.ocn.ne.jp

申込方法

本要項の後半ページ、参加・宿泊等のご案内をご確認の上、「参加申込書」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申し込みください。

- 一般参加者（記念講演のみ）は申込み不要です。
当日先着順となります。

テーマ

ほんなこつ好きバイ！ふくしの仕事 ～ひきだそう内に秘めた情熱を～

目的

私たち、21・老福連が主催する「職員交流集会」は、「豊かな援助実戦と公的福祉制度の確立」をめざし、全国の介護現場で高齢者に向き合い、尊厳ある人生への支援を多様に行い、優れた援助実践を持ち寄り、交流し、全国に発信する場となっています。

熊本地震直後から21・老福連より多くの支援をいただき、被災者や職員に大きな勇気と感動を与えました。震災から2年が経過しようとする現在、生活再建にはまだまだ時間がかかる状況にあり、被災者に寄り添った政策が求められます。

今回、熊本で開催されるにことで復興の現状を見ていただきながら、大いに語る場にしましょう。

プログラム

1日目 ● 全体会

会場：森都心プラザホール

12:00～	受付開始
13:00～13:20	歓迎セレモニー
13:20～13:30	開会あいさつ
13:30～14:00	基調報告 21・老福連 事務局長 正森克也氏
14:00～15:30	記念講演Ⅰ 「熊本地震からみた社会保障・社会福祉の課題と展望」 講師：熊本学園大学社会福祉学部 教授 高林秀明氏
15:30～15:40	休憩
15:40～17:00	リレートーク「おるがとこ（私のところ）の職場自慢」
17:00～17:10	2日目説明
17:15～17:45	座長・助言者打合せ

● 交流会

会場：KKRホテル熊本

19:00～21:00	熊本名物をはじめとしたホテルメニューをお楽しみください。 福祉従事者として絆を深めましょう。
-------------	---

2日目 ● 分科会・分散会

会場：大原学園・森都心プラザ会議室

9:00～	受付開始
9:30～16:30	分科会・分散会

3日目 ● 全体会

会場：森都心プラザホール

9:00～	受付開始
9:30～10:00	お楽しみ企画～何があるかは、当日のお楽しみ！～
10:00～11:30	記念講演Ⅱ「介護のやりがい・介護職の未来」 講師：日本介護福祉士会 会長 石本淳也氏
11:30～12:00	閉会・次回開催地挨拶

〈基調報告〉 11月24日（土）13：30～14：00
21・老福連 事務局長 正森 克也氏

21・老福連は介護保険法が成立した翌年に、全国の施設長36名有志が呼びかけ、介護保険制度が施行された翌年2001年3月に結成総会を開きました。介護保険制度施行から18年、「社会福祉」のあり方を21・老福連の活動の経緯をふりかえりながら、職員研究交流集会の基調報告を行います。

〈記念講演Ⅰ〉 11月24日（土）14:00～15：30
「熊本地震からみた社会保障・社会福祉の課題と展望」
講師：熊本学園大学社会福祉学部 教授 高林秀明氏

熊本地震から2年が経ちました。建物や道路などは復興してきていますが、住民の暮らしに目を向けると生活再建に支援が必要な状況があります。

住み慣れた地域から離れての避難生活から体調を悪化させた人、コミュニティが分断され孤独化していく人など課題が多く出てきています。これらは災害前の地域のかかえる課題の現れでもあります。

演者は、地域福祉の観点から被災者支援を行ってきています。その経験から震災を通じて見えてくる日本の社会保障・社会福祉の課題をお話します。



〈リレートーク〉 11月24日（土）15：40～17：00
「おるがとこ（私のところ）の職場自慢」

明日の分科会レベル（まとめるものではない）ではないが、所属する事業所、部門で「自慢できる。自慢したい。」話し、行事、取り組みを紹介しあって、「内に秘めた情熱」を全国に発信しましょう！！

〈記念講演Ⅱ〉 11月26日（月）10：00～10：30
「介護のやりがい・介護職の未来」
講師：日本介護福祉士会 会長 石本淳也氏

現場の介護福祉士から日本介護福祉士会会長に就任。国に対して介護現場の声を届けることを念頭に活動されています。その経験から介護を必要としている人々（国民）を中心にした介護が求められています。それを行うために介護職員に求められていることを一緒に考え、未来を語りましょう。介護のやる気スイッチが入る講演になるでしょう。



分科会演題募集

演題発表のごあんない・おさそい

職員研究交流集会には毎年100本を超える演題が発表され、優れた実践報告に学ぶ貴重な機会となっています。また、この交流集会は、他の研究発表会等とは「ひとあじ」違って、発表を糸口に、同じ介護・福祉の現場で働く者同士、日頃の疑問や悩み、失敗の経験などもざっくばらんに話し合う実践交流の場でもあります。

皆さんの経験を、全国の仲間と分かち合いませんか。あなたの実践は、仲間たちの『ある・ある』の共感を呼び、『希望のあかり』になるかもしれません。ベテランも初心者も大歓迎！肩ひじ張らずに気軽に発表してみましょう。

発表演題のエントリーは、ホームページから、以下の手順でお願いいたします。

① 演題エントリー

提出期限／8月31日（金）

エントリーは、21・老福連ホームページ <http://www.roufukuren.jp/> から



トップ画面の
「交流誌・集会資料等」
をクリック



「職員研究交流集会」をクリックし、
「分科会の演題発表エントリーはこちらから」
をクリック



演題エントリーフォームに
必要事項を入力し、
送信ボタンをクリックしてください

○送信後、ご入力いただいたメールアドレス宛に確認メールが届きます。必ず内容の確認をお願いいたします。
(メール不着の場合、エントリー失敗の可能性がありま
す。その際は別記、お問い合わせ先までご連絡ください)

○エントリー受付後、応募受付演題数によっては分科会の分割・統廃合などの調整を行います。希望された分科会から別の分科会に移っていただくこともありますので、予めご了承ください。

② 抄録と発表原稿の提出

提出期限／9月20日（水）

当日配布の原稿集に「抄録」を掲載します。また、集会運営の資料とする「発表原稿」も必要ですので、下記の要領で提出をお願いします。

なお、発表時間のめやすは、おおむね10分です。（※分科会の演題数によっては多少延長することもあります。ディスカッションと合わせて1演題30分を標準として分科会構成します。）

【抄録】の提出要領

- ・抄録は発表予定原稿をもとにまとめて下さい。
- ・21・老福連ホームページ 第18回職員研究交流集会開催要項のページから「21・老福連第18回職員研究交流集会 演題抄録用紙」を[ダウンロード](#)して、作成してください。
- ・抄録はそのまま原稿集に掲載しますので、所定のA4用紙1枚におさめて下さい（厳守）
- ・レポートの末尾に、発表者施設の連絡先（問合せ先）を明記してください。
- ・Wordで作成・提出して下さい。

「ファイル名」の付け方 = [分科会No][県名][事業所名][氏名][演題名]
(例) A-2 熊本 火の国苑 詫間九州男 誰にもその人らしい暮らしを

【発表原稿】について

- ・発表原稿は当日発表予定のものをご提出ください。※参加者への印刷・配布は行いませんが、座長・助言者が事前に読んで、分科会の進行や助言の参考にします。（論旨を変えない範囲で多少の変更はかまいませんが、変更があることを事前に座長にお伝えください）
- ・Wordで作成・提出して下さい。－形式は自由です。

「ファイル名」の付け方 = [分科会No][県名][事業所名][氏名][演題名]
(例) A-2 熊本 火の国苑 詫間九州子 誰にもその人らしい暮らしを

【提出方法】

- ・メールに「発表原稿」と「抄録」のファイルを添付して、下記へお送り下さい。

E-mail: 21rofu18kuma@gmail.com

- ・メールの件名は、演題応募－[分科会No][氏名][演題名]として下さい。

【その他】

- ・当日は、提出された原稿・スライドに基づいて発表をお願いします。
- ・個人情報の取り扱いについては、同意をえる等、事業所の個人情報保護規程に従い、適正な対応をお願いいたします。また、研究交流集会に参加できなかった方々とも実践交流を図る趣旨で、発表内容を「ゆたかなくらし」誌の21・老福連ページに紹介掲載することもありますので、ご承知おきください。

【パワーポイントを使用して発表される場合】

・ 使用機材について

発表に使用する機材（ノートパソコン・プロジェクター）は、主催者側で準備いたします。スピーカー、DVDプレイヤー、レーザーポインター等の用意はありませんのでご注意ください。

・ データ形式について

データ形式は以下の通りとします。

a) 使用ソフトウェア： Microsoft Power Point 2010 以前の形式

b) 埋め込み動画 アニメーション： 再生が保障できないので使用不可

c) フォント（書体）： Windows 付属の標準フォントをご使用下さい

・ 発表について

事前に、データファイルを分科会で使用するパソコンにダウンロードします。主催者側で動作確認し、トラブルのないように準備しますが、操作は演者（もしくは共同発表者等）が行ってください。ご不明な点がありましたら、下記に連絡をお願いいたします。

・ データの提出

発表データファイルを CD-R または DVD-R にて下記へお送りください。提出いただいたデータは返却しませんのでご了承ください。

提出期限：10月31日（水） 必着

なお、配布したい資料（スライド資料など）があれば、必要部数印刷して当日座長に提出してください。

※分科会の参加者数は参加集約後メール等にてお伝えします。

送付先お問い合わせ先はこちら

〒850-0952 長崎県長崎市戸町4丁目 7-17
TEL：095-898-5557 FAX：095-898-5536
特養ホーム青葉苑（担当：吉田共生、柴田親男）
E-mail: 21rofu18kuma@gmail.com

お気軽にお問い合わせください

分科会・分散会一覧

No	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
A	施設でのその人らしい暮らしを支える	A-1①	豊かな生活を支える	「その人らしい暮らし」を支えることを中心に、日常生活の中で支援の在り方や個別ケアの工夫、認知症ケアの取り組み、医療と介護の連携、最期まで食べることを大切にしたい取り組みなど、現場での実践事例・悩みを持ち寄り、学びあひましょう。	兵庫県 芦原デイサービスセンター 介護課長 木村 圭志	鹿児島 にじの郷 二にやま 施設長 竹下 順造
		A-1②		・ 厳しい体制の中でも、工夫しながら「その人らしい暮らし」を支える	岡山 中野けんせいえん 施設長 竹永 徹	沖縄 ゆがふ苑 施設長 玉城 好史
		A-1③		・ 創意工夫をしながらすすめている「小規模・小集団ケア」の実践	新潟 むつみ荘 施設長 松井 裕	熊本 輝祥苑 施設長 今村 文典
		A-2		・ ”その人”の QOL をつかむ リハビリや外出支援などの取り組み	静岡 芳川の里 施設長 小杉山 敬	あいち福祉医療専門学校 非常勤講師 早川 昌宏
		A-3①	重度化した高齢者への対応(医療と介護の連携・看取り等)	・ 排泄ケアや入浴ケア、口腔ケアなどの工夫	大阪 城東特別養護老人ホーム 施設長 中島 素美	福岡 いきいき八田 施設長 渡部 美紀
		A-3②		・ チームケア、多職種協働による実践	京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	長崎 青葉苑 施設長 大町 由里
	施設でのその人らしい暮らしを支える	A-4	食について考える	・ 認知症高齢者が安心して生活できるための創意工夫 ・ 認知症高齢者の尊厳を大切にしたいケアの取り組み		
		A-5	ケアハウス・有料老人ホーム・サ高住等多様な住まいの機能と役割	入所者の重度化にともなう、きめ細かな、健康管理、感染症対策・対応が求められています。本人の希望にスタッフ・家族の思いを重ねた「その人らしい最期」一理想の看取りとは。 ・ 介護職の医療行為について(医学的知識・業務手順等) ・ 医療ニーズへの対応と課題 ・ 生活を支える看護・リハなど専門職の役割・あり方 他職種との連携・課題 ・ 感染予防対策の取り組み ・ 皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・ 生活の延長にある看取りケアの実践	愛知 ケアハウスすこやか の里 施設長 阿藤 広志	福岡 ライフ戸畑 施設長 高尾 美奈子
		A-6	養護老人ホームの役割と課題	重度化に伴う食形態やユニットケア体制における現場調理や療養食加算の算定など施設における食の形態やあり方が複雑さを増しています。食事のあり方、課題について議論しましょう。 ・ 一人一人に合わせた食の提供の工夫、委託業者との連携 ・ 最後まで食べる楽しみを継続する取り組み、生きた栄養ケアマネジメント ・ 嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下など 栄養改善の取り組み ・ 個別対応と調理現場での工夫 委託業者との連携 ・ サービス機関との連携、地域資源の活用 ふるさと訪問など、地域との交流の経験	群馬 恵泉園 施設長 早川 博之	岡山 岡山市会場の里 施設長 藤岡 理恵
				高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付きの高齢者住宅、有料老人ホーム(住宅型、介護付き)、グループリビングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になりえるのか、また安心の住まい「終いの棲家」になりえるのか、事例をもちより、現状と課題を議論しましょう。 ・ 多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・ 中重度者への対応 ・ 医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 医療・福祉・地域との連携 ・ 地域でのネットワークと連携 「貧困ビジネス」の実情 いわゆる措置控え ・ 利用者の状況から見えてくる役割 相談機能 入居者の「孤独」とどう向き合うか		

No	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
B 在宅生活を支 える		B-1	短期入所の取り組みを中心に	「施設から在宅へ」の流れのなかで、重度の在宅生活者も増加しています。在宅生活を支えるショートステイのサービスの今日的な役割や課題、地域ネットワーク、医療ニーズの高い利用者への対応など、実践事例を持ち寄り学びましょう。 ☑利用者本人・家族の暮らしはどのように変化しているか ☑デイサービス・ショートステイを一体的に取り組んでいる実践事例 ☑ショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ☑認知症高齢者のショートステイ、デイサービスでの支援の工夫 ☑多様化するニーズへの対応(ケアプランとの連動、長時間型、夜間型、夕食提供、お泊まりなど) ☑事故防止の取り組み ☑業務の工夫改善・利用者拡大の取り組み ☑ショートにおける個別的援助とは？ ☑介護予防(デイ)への取り組み、その効果 ☑医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ☑個別機能訓練、口腔ケア、栄養マネジメントの取り組み ☑家族支援の在り方 相談、援助、認・認世帯への援助 レスパイトケアの在り方の変化 ☑デイ、ショートにおける各職種の役割と連携 ☑緊急ショートステイの受け入れ(高齢者虐待での対応等) 高齢者は地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活課題を抱えています。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティについて、また市町村独自の制度などその人らしい生活が支援できる地域包括ケアの姿について実践例や課題を持ち寄り議論しましょう。	兵庫 KOBE 須磨さくらえん 部長 小林 大洋	千葉 やわら木苑 施設長 阿部 孝志
		B-2	通所介護の取り組み		島根 ひまわり園 施設長 須田 英男	大阪 結いの里 施設長 阿部 裕一郎
		B-3	地域包括ケアと総合事業 困難事例 居宅介護支援・地域包括支援センター	☑地域包括ケアの新たな役割と課題 ☑アセスメントとリスク管理、情報共有 ☑多問題家族や独居、老老家族など困難事例への取り組み ☑障害のある家族支援の取り組み ☑総合事業の課題と成果 ☑連携の課題、地域の課題 ☑権利擁護、行政との関係	兵庫 あしや喜楽苑 施設長 小林 浩司	福岡 くらさき苑 苑長 宮田 真由美
		B-4	在宅を支える訪問事業 グループホーム ケア 小規模多機能施設	(訪問介護、訪問看護、訪問リハ、訪問歯科、訪問入浴) 度重なる制度改正に利用者・家族も事業所もほんろうされています。それをどう乗り越えてきたのか、乗り越えようとしているのか。深刻なヘルパー不足への対応。看取り、独居認知症高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。また地域との連携や社会的地位の向上にどんな実践を行っているのか、経験を持ち寄り討議しましょう ・ 質の向上の取り組み・サービス提供者の役割 ・ ヘルパー確保・育成、高齢ヘルパーへの配慮など、スタッフの確保 ・ サービス提供責任者の主張・・・「やりがいはあるけど。なんとかしてよ！この現実」 ・ 生活支援の専門性・・・「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ ヘルパーの担う「医療行為」・・・研修制度、事故のリスクなど考えておきたいこと ・ この家で最期まで・・・在宅での看取りの実態 ・ ネットワーク、地域づくりの取り組み、「同居家族問題、自費介護など制度矛盾への対応 ・ 「特定事業所加算」のとりくみ、新総合事業への取り組み、身障制度の合体 (グループホーム・小規模多機能施設) 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームの在り方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しましょう。小規模多機能施設は、「通い」「訪問」「泊まり」のサービスとして創設されましたが、メリットとともに多くの問題が浮かび上がっています。在宅生活を支える取り組みや課題について、実践事例を通して議論しましょう。 ・ グループホームでのケアの在り方、実践、役割、地域とのかかわり ・ 小規模多機能施設の役割と地域連携、認知症になっても地域で暮らせるための施設の役割 ・ 医療的ケアが必要な利用者の対応と課題	京都 生活支援総合センター姉小路 施設長 宮本 武史	大阪 GH たんぽぽ ホーム長 正森 克也

No	分科会名	分散发	分散发名	テーマ	座長	助言者
C	人としての尊厳と安心・安全な生活を考える	C	安心・安全な生活、災害への対応	日常生活の中には多くのリスクが存在します。利用者・家族との信頼関係の構築本人の尊厳を大切にしながら安全に安心して暮らしていただくために、リスクへの対応によっては、利用者の生活のあり様がかわることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。 - 発生した事故・ヒヤリハットから学んだこと、再発防止、改善の工夫 - 身体拘束廃止、虐待防止の取り組みと課題、オンブズマンや第三者機関活動の実例 - その人らしさ、自由、プライバシーを守るケアの実践、高齢者の生活とリスクマネジメント - 事故防止の取り組みや体制、家族との連携・信頼関係づくり、事故対応マニュアルと活かし方 職員が誇りと自信をもつて元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのように進めるか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい8Kが実現できる職場づくりについて話し合いましょう。 (より良い職場づくりのために) よい介護ケアを進めるためには、「働きがいがある職場づくり」が必要です。中間管理職の立場の悩みや課題も率直に出し合いながら議論しましょう - 職場会議の持ち方、職場運営 - 求められる中間管理職、果たす役割 - 組織の活性化につながる取り組み、チームワークや協力・連携への課題。 - 研修制度、職員育成の工夫や悩み。職員に寄り添ったキャリアパス・処遇体系づくり - メンターなど、「育ち・育ち合う」とりくみ 派遣・外国人・障害者雇用などをどう考えるか - 本音トークで職場の問題にとりくんだ経験 管理職や上司、他職種とのコミュニケーション工夫 - 職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスの取り組み、課題 - リファラル(紹介)制度など、リクルート活動への参加 事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境の中、「実務の要」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりのうえでもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。 - 福祉施設における事務部門の役割、介護現場との連携の工夫 - 事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用。情報管理の工夫。守秘義務と情報公開の課題 - 事務部門からみた介護保険・福祉制度の問題点 感じる矛盾 - 民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 - 全職員参加の経営・運営、処遇改善に向けた取り組み	京都 ライブリギきぬかけ 事務長 藤田 隼平	兵庫 にしのみや苑 施設長 田中 研次
D	育ち合い育てあう職場づくりをめざして	D	より良い職場づくりのために	職場会議の持ち方、職場運営 - 求められる中間管理職、果たす役割 - 組織の活性化につながる取り組み、チームワークや協力・連携への課題。 - 研修制度、職員育成の工夫や悩み。職員に寄り添ったキャリアパス・処遇体系づくり - メンターなど、「育ち・育ち合う」とりくみ 派遣・外国人・障害者雇用などをどう考えるか - 本音トークで職場の問題にとりくんだ経験 管理職や上司、他職種とのコミュニケーション工夫 - 職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスの取り組み、課題 - リファラル(紹介)制度など、リクルート活動への参加 事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境の中、「実務の要」としての役割がますます重要になっていきます。また、行政や地域との関係づくりのうえでもその能力を求められています。事務部門の役割について議論を深めましょう。 - 福祉施設における事務部門の役割、介護現場との連携の工夫 - 事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用。情報管理の工夫。守秘義務と情報公開の課題 - 事務部門からみた介護保険・福祉制度の問題点 感じる矛盾 - 民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 - 全職員参加の経営・運営、処遇改善に向けた取り組み	福岡 いきいき八田 統括部長 川添 大介	富山 しらいわ苑 施設長 加藤 まゆみ
E	福祉施設の事務の役割を考える	E	事務の役割を考える	福祉施設における事務部門の役割、介護現場との連携の工夫 - 事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用。情報管理の工夫。守秘義務と情報公開の課題 - 事務部門からみた介護保険・福祉制度の問題点 感じる矛盾 - 民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 - 全職員参加の経営・運営、処遇改善に向けた取り組み	千葉 やわら木苑 総合サービス室長 伊藤 裕之	宮城 宮城厚生福祉会 事務局長 大内 誠
F	地域や利用者・家族に支えられた施設づくりのために	F	地域や家族に支えられた施設づくり、地域貢献の取り組み	利用者・入居者の「豊かな生活」を実現するためには、介護従事者だけでなく、家族・地域住民との連携が不可欠です。家族介護者への支援、家族介護者の課題や悩みなどから施設と家族(家族会)、施設と地域の繋がりをなど、『家族』『地域』について大いに議論しましょう。家族会や地域の方など大歓迎。 - 家族会活動の現状と課題、家族とのケアパートナーシップ・ボランティア活動 - 家族等介護者への支援と課題、家族介護の家族の本音とその支援 - 施設を支える会の活動交流 - 介護者のネットワークづくりの現状と課題、地域のインフォーマルな共同組織活動 ・地域貢献活動内容の現状と課題 こども食堂 独居老人食事会 介護教室など - 地域に根ざした施設運営、新規事業計画 - 苦情や意見の施設運営への反映 - 利用者アンケート、利用者満足度調査と運営改善運動など	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム 施設長 西岡 修

21・老福連 第1号

第18回職員研究交流集会

in 熊本ニュース

●— 大会テーマ —

ほんなこつ好きバイ！福祉の仕事

～ひきだそう 内に秘めた情熱を～

21世紀・老人福祉の意向上をめざす施設連絡会（通称：21・老福連）は、第18回職員研究交流集会を11月24日（土）から26日（月）の3日間熊本で開催します。

熊本地震から2年が経過しました。生活再建にはまだまだ時間がかかる状況にあり、今回、熊本で開催されるにことで復興の現状を見ていただきながら、大いに語る場にしましょう。

大会成功に向けて現地熊本をはじめ、九州の会員施設が実行委員会を作り準備をしています。その中で新たに3つの施設が会員となりました。みなさんのご参加をお待ちしています。

熊本で待ってるモン！



全体会会場の都心プラザ



実行委員

記念講演講師決まる

■1日目

『熊本地震からみた社会保障・社会福祉の
課題と展望』

熊本学園大学社会福祉学部
教授 高林秀明氏



■2日目

『介護のやりがい・介護職の未来』

日本介護福祉士会
会長 石本淳也氏



21・老福連 第18回職員研究交流集会 in 熊本

大会参加・交流会・宿泊等

お申込のご案内

大会期日：平成30年11月24日（土）～11月26日（月）

会 場：くまもと森都心プラザ・大原学園熊本校

歓迎のご挨拶

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、「21・老福連 第18回職員研究交流集会 in 熊本」が熊本市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

大会に参加されます皆様方のお手伝いを名鉄観光サービス株式会社熊本支店にて担当させて頂くことになりました。

つきましては、参加される方々の宿泊等の手配に関してご案内を申し上げます。

皆様方のお越しを心よりお待ち申し上げます。

謹白

名鉄観光サービス株式会社 熊本支店

支店長 對馬尚武

1 大会参加・交流会・宿泊・弁当のお申し込みについて

別紙申込用紙に必要事項を全てご記入のうえ、FAX・郵送にて弊社にお申し込み下さい。

※電話での申込・変更・取消はお取り扱い出来ませんのでご注意ください。

申 込 先	FAX の お 申 込 : FAX 送信先 096-354-4359
	郵 送 の お 申 込 : 〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街 11-18 名鉄観光サービス株式会社 熊本支店 21・老福連 第18回職員研究交流集会 in 熊本 係
	申 込 締 切 日 : 平成30年10月1日(月)

◎受付後、大会参加券・宿泊券等及び請求書を10月中旬以降に発送いたします。

◎お支払いは平成30年10月26日(金)までに所定の口座へお振込み下さい。

【振込手数料はお客様ご負担とさせていただきます】

◎宿泊施設は、先着順とさせていただきます。

※ご希望の宿泊施設が手配出来ない場合は、担当者様へ連絡し調整をさせていただきます。

◎申込書が足りない場合は、コピーしてご利用下さい。

2 大会参加費

【1日間】 7,000円

【2日間】 9,000円

【3日間】 10,000円

3 交流会のご案内

【日 時】 平成30年11月24日(土)・19:00~

【場 所】 KKR ホテル熊本 【市電 市役所前より徒歩6分】

【会 費】 大人:9,000円(お一人様 税サ込)

4 宿泊のご案内

【宿泊設定日】平成30年11月24日(土)・25日(日)

【宿 泊 料 金】お一人様あたり 1泊朝食付(税サ込)

宿 泊 施 設 名	部屋タイプ	申込 番号	食事条件	宿泊料金	最寄駅からのアクセス
アークホテル熊本	シングル	1	1泊朝食	11,500円	市電 市役所前より徒歩5分
三井ガーデンホテル熊本	シングル	2	1泊朝食	12,500円	市電 辛島町より徒歩5分
熊本ワシントンホテル	シングル	3	1泊朝食	10,800円	市電 辛島町より徒歩3分
リバーサイドホテル熊本	シングル	4	1泊朝食	9,720円	市電 辛島町より徒歩3分
コンフォートホテル熊本新市街	シングル	5	1泊朝食	9,720円	市電 辛島町より徒歩1分
熊本東急REIホテル	シングル	6	1泊朝食	9,720円	市電 辛島町より徒歩1分
リッチモンドホテル熊本新市街	シングル	7	1泊朝食	11,880円	市電 辛島町より徒歩1分
ホテル法華クラブ熊本	シングル	8	1泊朝食	9,720円	市電 慶徳校前より徒歩2分
ホテルルートイン熊本駅前	シングル	9-S	1泊朝食	9,720円	JR熊本駅より徒歩3分
	ツイン	9-T	1泊朝食	8,640円	
ザ・ニューホテル熊本	シングル	10-S	1泊朝食	13,500円	JR熊本駅より徒歩1分
	ツイン	10-T	1泊朝食	12,960円	
水前寺コンフォートホテル	シングル	11	1泊朝食	8,640円	市電 国府より徒歩2分

※ 最小催行人員：1名様

①: アークホテル熊本
 ②: 三井ガーデンホテル熊本
 ③: 熊本ワシントンホテル
 ④: リバーサイドホテル熊本
 ⑤: コンフォートホテル熊本新市街
 ⑥: 熊本東急REIホテル
 ⑦: リッチモンドホテル熊本新市街
 ⑧: ホテル法華クラブ熊本

○: 熊本市電電停

熊本城
 市役所前
 通町筋
 水道町
 花畑町
 辛島町
 白川
 九品寺交差点
 産業道路

KKRホテル熊本
 (懇親会会場)

9: ホテルルートイン熊本駅前
 10: ザ・ニューホテル熊本
 11: 水前寺コンフォートホテル
 ○: 熊本市電電停

上熊本駅
 JR鹿児島本線
 熊本駅
 大原学園熊本校 (分科会会場)
 森都心プラザ (メイン会場・分科会会場)

熊本城
 熊本市役所
 白山通り
 南熊本駅
 平成駅
 水前寺駅前
 新水前寺駅前
 産業道路
 JR豊肥本線
 県道337号線
 北バイパス
 東バイパス
 県庁
 57

5 弁当のご案内

【期 日】 平成30年11月25日(日)
【場 所】 くまもと森都心プラザ・大原学園熊本校
【料 金】 1,000円(お一人様 税サ込)・お茶付

6 取消・変更のご案内

お取消・ご変更の際は、下記のとおり取消料を申し受けますので、ご注意ください。

	21日前	20～8日前	7～2日前	前日	当日	旅行開始後・無連絡
宿泊	無料	20%	30%	50%	80%	100%
交流会	無料			50%	100%	
弁当	無料					100%

- 17:30以降のお取消し・変更は翌営業日の受付となりますのでご注意ください。
尚、土日祝祭日のお申し出も翌営業日扱いとなります。
- 上記取消料ならびに郵送料の実費を差引いて、大会終了後に精算致します。
- 大会当日のご返金は事務手続き上できませんのでご了承下さい。

7 ご旅行条件について

●募集型企画旅行契約

この旅行は名鉄観光サービス㈱が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

★旅行契約の内容・条件につきましては、大会参加券類送付の際、「詳しい旅行条件書」を同封いたしますのでご確認くださいませようお願い申し上げます。

★契約の内容・条件につきましては、お申込前に当社の店頭またはホームページでもご確認くださいませ。

★この旅行条件は、平成30年6月1日を基準日としています。

8 個人情報の取扱について

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催事務局に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただいた個人情報は利用いたしません。

上記のほか、当社の個人情報の取扱に関する方針については、当社の店頭またはホームページにてご確認ください。

名鉄観光サービスホームページ(<http://www.mwt.co.jp>)⇒

⇒(TOP ページ最下部)⇒運営、約款、条件書等について⇒

⇒個人情報保護方針、個人情報保護の対応について

【お問い合わせ先】

観光庁長官登録旅行業第55号 (社)日本旅行業協会正会員 ポンド保証会員

旅行企画・実施

名鉄観光サービス株式会社 熊本支店

『21・老福連 第18回職員研究交流集会 in 熊本』係

〒860-0803 熊本市中央区新市街11-18 熊本第一生命ビルディング7階

営業時間 平日 月曜日～金曜日(09:00～17:00) 土・日・祝日は休業

TEL: 096-354-4351 FAX: 096-354-4359

Eメール: hirotaka.harimoto@mwt.co.jp

総合旅行業務取扱管理者 対馬 尚武

担当: 張本・櫻木



旅行業公正取引
協議会 会員

21・老福連 第18回職員研究交流集会 in 熊本 参加申込書

送 信 先

名鉄観光サービス(株)熊本支店 担当:張本・櫻木行

FAX 096-354-4359

申込日 2018 年 月 日

県名		県		施設名												
住所		〒		担当者 氏名		TEL:										
						FAX:										
No.	フリガナ 参加者氏名	性別	職名	参加費			弁当	宿泊希望日			分科・分散会 11/25(日) 座長・記録・助言者・発表者 の方は役割をご記入下さい	備考 ツイン同室希望・禁煙・喫煙	名簿への氏名記載の可否※ 記入漏れの場合可能と判断 させていただきます			
				1日間参加費 7,000円 2日間参加費 9,000円 3日間参加費 10,000円				※ホテル記号をご記入下さい								
				11/24 11/25 11/26 (土) (日) (月)				ホテル希望 第1希望 第2希望			11/24 11/25 (日)					
例	クマモト タロウ 熊本 太郎	男	施設長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1																
2																
3																
4																
お申込金額計算欄		参加費計		交流費計		宿泊費		11/24 泊計		11/25 泊計		弁当代計		合 計		
				円		円		円		円		円				

<注意事項> ※禁煙・喫煙はご希望に添えない場合があります。※郵送の場合は必ず控えをおとりください。※5名以上の場合はコピーしてお使い下さい

<返金口座記入欄>(返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算致します。口座名義はカタカナにてご記入下さい) ※記載された個人情報、運営管理の目的のために使用致します。

金融機関	銀行	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
------	----	----	------	-------	------

※ 1日目、3日目の全大会には手話通訳・要約筆記があります。2日目の分科会にて必要な方は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願い致します。

<弊社使用欄> 上記受領いたしました
月 日 受付者 No.